



畿央大学後援会だより

発行：畿央大学後援会
2013年3月21日
第9号



ごあいさつ

畿央大学後援会 会長

上山 準大

厳しい寒さも少しずつやわらぎ、街のあちらこちらに春の薫りが感じられる季節となりました。畿央大学後援会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のことと、お喜び申し上げます。また平素より、後援会活動にご理解、ご支援をいただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。

以前にこんな話を耳にしたことがありました。『日本の春を代表するものの一つに桜がある。あの花の淡いピンクは、私たちの目に触れる花びらだけのものではなく、実は樹全体のものなのだ。その証拠に、ごつごつとした樹皮から色素を取り出して織物の染料にすると、実に綺麗なピンクの織物が出来上がる。実は、桜の樹はそのからだ全体であの綺麗なピンクを演出しているのである。』と言うのです。さらに続けて『人の言葉や表情は、これに似ている。言葉や表情は、うわべだけでは決して相手に伝わらない。その人の全身全霊をもって表出したものでなくては、桜のような本物のピンクには到底なり得ないのだ。』と。

私たちが普段何気なく使っている言葉も、桜の「ピンク」に負けない力のある「本物」でありたいと思うこのごろであります。

文末になりましたが、この「後援会だより」の編集にご協力いただきました関係者の皆様に御礼を申し上げ、ごあいさつといたします。

後援会の皆様へ

学校法人冬木学園 理事長
畿央大学 学 長

冬木 智子



青垣 山ごもれる やまとしうのはしと詠まれた山々が連なり、新緑の森を眼下に控えた畿央大学、今春も多数の志願者の中より選抜された有能な新入生を迎えることになりました。その学生たちの背後には、篤い願いを愛する我が子にかけておられる保護者の皆様方がおられるわけであります。その後援会の皆様からのご支援こそが畿央大学前進の原点であると存じます。

お陰をもちまして、既にご存じの如く本学の真摯な歩みは広く社会的にも高く評価され、支持されるに至っております。

本年いよいよ畿央大学開学10周年の輝かしい春を迎えるにあたり、更なる飛躍に向かい全学あげて建学の精神「徳をのばす・知をみがく・美をつくる」を旗印にかかげて邁進して参りたく覚悟を新たにしております。

今後とも、本学の後援会会員でおられます皆様方の変わりなきご協力を重ねてお願い申し上げます。皆様の御健勝、御多幸をお祈り致しまして、卒業生ならびに在学生の保護者の皆様に対するご挨拶とさせていただきます。



貴重な人材をお預かりして

健康科学部長 健康科学研究科長 金子 章道

畿央大学後援会会員の皆様からは、本学の教育に対し日頃より深いご理解と多大なご支援を賜り深く御礼申し上げます。本学教員は建学の精神のもと、一丸となってご子弟の教育に当たっております。

わが国ではますます少子化が進み、一人一人の若者は社会にとって貴重品になりました。20世紀中頃までは子供も多く、一人一人に目が行き届く子育ても出来ませんでした。しかし、今ではどのご家族にとってもお子様は宝物だと思います。この宝をしっかりと磨き上げ、社会に役立つ宝石に仕上げなければなりません。大学には、その役割を保護者の方々と分かち合い、果たしていかなければならない責任があります。私ども大学の教職員はお預かりした原石をどのように磨けば光ようになるかと日夜考えております。しかし、人間は外からの力だけでは光ようになりません。自らの努力、これが最も重要です。保護者の方々におかれましては、どうか本学の教育に対する方針を理解され、ご協力賜りますようお願いいたします。

大学教育改革の波のなかで

教育学部長 白石 裕



後援会の皆様、こんにちは。日頃は、本学の教育に多大なご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。お陰をもちまして、本学は、新たな中長期計画の下、さらなる発展を目指し始動しようとしています。現在、国の主導により大学教育の改革が進められていますが、その骨子は、グローバルな世界で活躍できる質の高い学生を養成すべきだということです。先日、卒業式を間近に控えたA君が私の部屋にやってきて学生生活を回想してくれましたが、そのなかで、A君は、在学中に得たものとして、学問の面白さを体得し、自分なりの学習の方法論を身につけることができたことをあげました。教育学という自己教育力の修得、これぞ大学教育の真髄だと感銘すると同時に、A君が将来、社会のリーダーに育つことを確信しました。ともすれば方向性を見失いがちな今日の大学教育改革の波のなかで、A君のような学生を育てることを本学教育の基本とすべきことをあらためて認識しました。後援会の皆様には、引き続きお力添え賜りますようお願い申し上げます。

007-1200

ごあいさつ	P 1
健康科学部 理学療法学科	P 2
看護医療学科	P 3
健康栄養学科	P 4

人間環境デザイン学科	P 5
教育学部 現代教育学科	P 6
開学10周年をステップに	P 7
10周年記念事業・授業日カレンダー	P 8

メッセージ

理学療法学科
学科長

庄本 康治



保護者の皆様には、日頃より本学科の運営、教育にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、国立社会保障・人口問題研究所が

2012年1月に発表した「日本の将来推計人口」では、超高齢化と人口減少社会の現実を報告しています。日本の総人口は2010年から2060年にかけて1億2806万人から4132万人減少し8674万人になりますが、特に2040年以降は毎年100万人以上のスピードで減少していきます。一方、高齢者の人口は2010年の2948万人から2042年には3878万人でピークに到達します。その後は総人口も減少するので、2060年の高齢化率は39.9%、すなわち、10人中4人が高齢者になりますが、これは「すでに決定した未来」と考えられています。

ところで、2012年現在の理学療法士免許
取得者は約10万人ですが、20、30歳代が約

84%を占めています。毎年の理学療法学科卒業生が1万人を超えている現状をそのまま当てはめると、いずれ供給過多になり、2040年頃には淘汰される理学療法士も発生すると予測します。今後は、単に免許を持っているだけではなく、真のプロフェッショナルになることが要求されていて、そうなれば十分に生き残っていけると考えています。学生さんたちには将来を見据えて志を新たにしてもらい、プロフェッショナルに成長するにはどうすべきか、また、現在どうすべきかを考え続けて欲しいと思っています。

ゼミ活動と卒業研究

理学療法学科では、研究能力向上を目的に4回生時に「卒業研究」を必修科目として開学時から実施しています。研究に関する授業は、3回生前期の「理学療法研究法」が最初ですが、研究分野、方法、文献検索等を学習します。理学療法学科には様々な専門分野で活躍している15名の教員がいますが、3回生前期にどのような卒業研究を



実施するかによって各教員への配置、すなわちゼミが決定します。各ゼミでは、教員1人あたり5名前後の学生さんを配置しますが、ゼミの活動が本格的になるのは、3回生後期の「理学療法研究法演習」からになります。この授業では卒業研究テーマ、研究実施方法等について、担当教員やゼミ生、時には大学院生などを含めた議論、文献調査などによって明らかにしていきます。さらに、研究で使用する機器について勉強し、実際に使用して慣れていきます。3回生は2月中盤から3月上旬まで、「評価実習」がありますが、3月の残りの期間にも可能な限り卒業研究の準備をしていきます。4回生になると、4月から7月下旬までは「総合臨床実習」に参加しますので、卒業研究はいったん休みにになります。総合臨床実習後の8月から再開し、11月上旬の卒業



研究発表大会まで研究を続けていきます。卒業研究のレベルは高く、毎年の全国理学療法学会に採用される発表も多くなっています。このように3年生後期からは、ゼミ単位での活動が盛んになり、卒業研究以外の専門分野や就職等について相談、指導する場合も多くなり、我々教員も楽しみにしていますが、飲み会等で様々な話をする機会も増えます。さらに、卒業研究と並行して国家試験の準備を実施していきますが、ゼミ担当教員が担任として指導していく場合も増えます。

理学療法学科 3 回生、 病院実習へ!

2月2日(土)に3回生は最後の定期試験が終わりました！
先生方の愛ある「ガチ」のテストにみんなへロへロ…ですが、
これはその後の解放感たっぷりの写真です★

試験が終わってほっとしたのもつかの間、2月11日(月)から3週間の「評価実習」が始まります！関西だけでなく地方の実習地もあり、1人または2人で実習へ臨みます。また、その実習が終わって4回生になっても、4月～7月末まで「臨床実習」の1期・2期が待っています。

初めての長期実習という新しい環境や一人暮らしにドキドキ、不安いっぱいですが、私たちが3年間勉強した成果を発揮する場です。今まで学んできたことを実践し、一人の患者さんを担当することができる最初で最後のチャンスでもあります。そして何よりも、いつも私達を応援してくれる先生、



先輩、後輩がいます。3年間共に学んできた8期生みんながいます。

各々のゼミでは、国家試験前の忙しい中、先輩方が「実習頑張ってきてね会」を開いてくれました！場所はみんなバラバラですが、8期生みんな、成長した姿で8月に大学へ帰ってこられるように、一生懸命！元気に！がんばりたいと思います。

理学療法学科3回生の学生広報スタッフ、佐伯、山根、山野、横山、吉川さんによるブログ記事(2013年2月12日)を転載させていただきました。

メッセージ

看護医療学科
学科長
伊藤 明子



後援会の皆さまには、日頃より本学の教育にご理解とご協力を賜り、心よりお礼申しあげます。看護医療学科では、実習はもとより校外活動など体験型の学びを重視しています。そこで出会う地域の方々、患者さまやそのご家族、医療スタッフとの出会いに、学生たちは心を動かされ、その意味を深く考えて自らを振り返る貴重な体験をさせていただいています。看護は実践の科学であり、見えないものを科学する学問です。日常のどんな経験も自らの成長の糧にできること、「分かっていること」の裏に「分からないこと」があると認識し、常に立ち止まって主体的に考え看護の面白さを

少しずつ感じ取って欲しいと願っています。昨年12月には、例年開催している臨地実習指導者研修会に卒業生（1期生）4人が参加してくれ、学生時代の実習について語ってくれました。成長の跡がうかがわれ感動しました。なかでも「実習場で看護学生は、それまで全く感じたことのない想像もつかない空間にいる」という発言は、教員として実習生の気持ちを理解する重要なヒントとなりました。感性豊かな学生の学びを大切に、今後も教員一丸となって精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

国家試験対策を振り返って

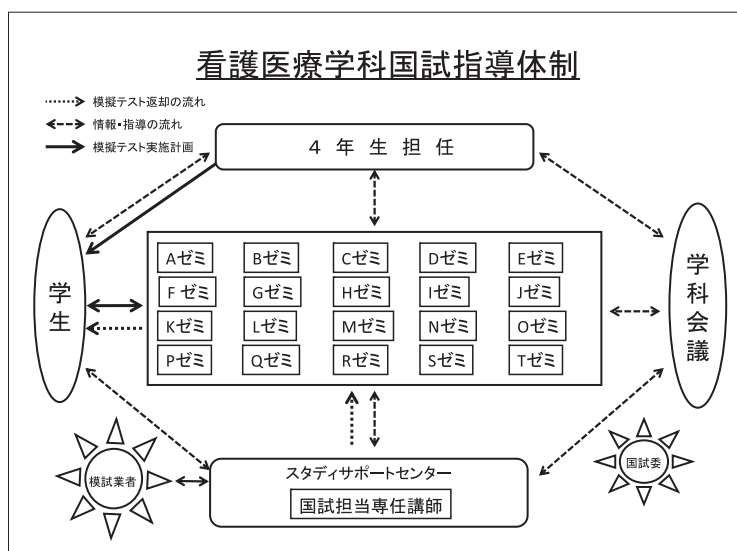
今年2月看護医療学科2期生は、保健師国家試験89名、看護師国家試験93名が受験しました。合格発表は3月25日です。卒業後の進路は、ほとんどの学生が希望する病院に就職し、8名は本学助産学専攻科に進学します。就職に関しては年々採用選考試験が早くなっていますが、キャリアセンター職員が早くから対応し就職活動を促したため、夏に就職が内定する学生も多くなりました。

3回生の3月に外部講師による国家試験傾向分析会を開催し、eラーニングによる国家試験過去問題への取り組みも開始しました。4回生前期には、卒業研究や実習と並行しながら3回の模擬テストを受験し、後期は毎月1回の模試を受験しました。国試のための学習サポート体制は、図に示している通り整えています。そして、模試の終了後は毎回自己採点と誤答問題に関するレポート提出により知識の確認をすること、補習や国試対策講座の開講、ゼミ担当教員によるマンツーマンの個別面談やスタディ

サポートセンターによる個別学習指導等を行いました。また、平日はもとより土・日も利用できる国試対策用の自習室を設けて自主的な学習ができるよう環境も整えています。2期生は、学生の努力が実り、12月、1月の模試成績は全国学校順位のトップクラスに位置することができました。

もうすぐ3期生の国試対策が始まると思っています。国家試験合格のための秘策は何と言っても学生自身のたゆまぬ努力であり、4回生になって慌

てて受験勉強をするのではなく、入学時からの学習の積み重ねが大切です。一人一人の学生のニーズに合ったマンツーマンによるきめ細やかな学習指導を重視し、教職員は全力でお子様をサポートしますが、ご家庭におかれましても、日頃の学習に目を配っていただき心身両面でのご支援のほど、よろしくお願い致します。



学生の成長がみえる看護学実習

看護医療学科では、3年次の8月末から2月初旬まで、病院実習を行います。実習中は緊張の連続で「毎日5時起きでした」「忙しい看護師さんに声をかけるタイミングがわからなかった」という苦労話もありますが、「自らのちょっとした言動を振り返ることができ、患者さんの思いに気づくことができるようになりました」「認知症の患者さんとのコミュニケーションに苦労しましたが看護師さんの接し方をみて学びました」「患者さんの生活を考えながら作ったパンフレットは、とても喜んでもらえました」などの言葉から、学生の成長の様子が伝わってきます。学生自らが弱みや新たな課題を見出し、看護援助を考えるうえでは信頼関係の構築が重要であることを学んでいました。涙あり、笑顔ありの実習が終わり最

終日はケーキを囲んで打ち上げです。教員も一つの実習を終えるたびに成長していく学生さんの姿を見るのはうれしいものです。実習施設で「織央の学生さんはいい看護師さんになるよ」と声をかけてくださることもあり、この実習体験が学生の成長につながってくれることを祈っています。



メッセージ

健康栄養学科
学科長
北田 善三



保護者の皆様には、日頃より本学科の教育に深いご理解と多大なご協力を賜りお礼申し上げます。

パソコンやスマートホンなどの電子機器の普及により、最近の日本人は日本語能力が低下したといわれています。事実、昨年3月に文化庁が実施した「国語に関する世論調査」でもはっきりと表れています。その調査で「漢字を正確に書く力が衰えた」と感じる人は66.5%で、10年前に比べて24%増えており、特に20歳代では10年前に比べて30%以上も増えています。ただし、これは世間一般のことであって、本学科の学生は実によく字を書いています。たとえば4回生の国家試験対策の一環として行っ

ている模擬試験では、終わるたびに振り返り学習を義務づけていますが、学生たちは調べたことを問題用紙の空白部分やノートなどに整理しています。腱鞘炎にならないかと心配するほどよく書いています。

学生たちが社会一般の風潮に流されることなく、真剣に努力している姿を見るにつけ、おかれた環境によって人はこうも変わるものかと常々感心しています。今は気づかないかも知れませんが、この涙ぐましい努力はきっと社会に出て力を発揮してくれるはずです。保護者の皆様には、今後も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

健康栄養学科の国家試験対策について

今春、畿央大学は開学十周年を迎え、健康栄養学科からは七期生が卒業していきましました。今年の結果はまだ出ていませんが、一年前の六期生においては、国家試験の受験者全員が合格し、初めて合格率100%を達成することが出来ました。これはひとえに、汗と涙にまみれた学生の努力によって得ら

れた賜物です。

管理栄養士国家試験の試験範囲は大学4年間で習った専門科目はほぼすべてであり、非常に広範囲な分野の知識が問われます。試験時間は合計4時間50分にもおよび、知識とともに体力、気力も必要とされます。本学では全員の国試現役合格を目指し、2～4回生において国家試験対策の授業を行っています。特に4回生では、科目を担当する学科全教員が毎週持ち回りで講義や演習を実施し、1～3回生で習った専門分野の内容を復習しながら国家試験形式の問題を解く力を身につけていきます。また、受験対策を専門とする外部講師による集中講座や、年間を通じて模擬試験を適宜実施し、試験問題の復習を通じて学力の向上を図っています。



これまでの国家試験対策の経験から感じることとは、「合格の確率は、勉強に対する熱意と勉強量に比例する」ということです。我々はいかに国試に対する意識を持たせ、やる気を引き出すかに重点を置いて指導しています。卒業生全員が食と栄養のスペシャリストとして社会で活躍することを目指し、今年も学科の総力をあげて国家試験対策に取り組んでいきますので、ご家庭でもご協力の程を何卒よろしくお願い申し上げます。



川西町連携事業

「結崎ネブカレシピ」品評会を実施しました！

健康栄養学科2回生の後期授業「給食経営管理論実習」（指導教員：上地加容子）では、川西町商工会と連携して大和伝統野菜の一つである結崎ネブカ（根深ネギ）を使ったレシピ開発に取り組みました。78名が8つのグループに分かれて開発したネブカレシピ20作品を紹介する場として、2013年1月15日に品評会を行いました。学生たちが早朝から調理した料理を実際に食べて審査して頂きました。審査員として川西町からは、松本副町長、吉村商工会長はじめ20数名の方々にお越し頂きました。

この日表彰を受けた作品は、川西町長賞がネブカと油揚げの煮物、川西町商工会長賞がネブカとじゃこタコの酢の物、ネブカ生産部会長賞が三食ミルフィーユカツでそれぞれに賞状と景品が、また参加

した学生全員に川西町特産の貝ボタンをベースに本学のロゴをあしらった特製ピンバッジが贈られました。

料理レシピは小冊子化されるほか、川西町や奈良県の広報誌などに掲載され、一般家庭向けに新たな食べ方として紹介される予定です。



メッセージ

人間環境デザイン学科
学科長

三井田 康記

平素より、本学の教育にご理解とご支援を賜り、ありがとうございます。

3月2日、3日に行いました卒業研究・作



品展は、卒業生や保護者の方をはじめ多くの方がお越しいただき、大成功のうちに終わることができました。多くの卒業生が元気な顔を見せてくれ、近況を聞かせてくれました。ありがとうございました。

今年の卒業研究・作品展は、奈良県文化会館の展示室で開催しました。例年の開催場所に比べ、2倍ほどの広さの展示室で開催しますので、学生たちの卒業作品で会場が埋まるのかとわれわれ教員は心配していたのですが、それは杞憂に終わりました。学生たちの頑張りや卒業作品の質はわれわれ教員の期待を超えるものでした。4年前入学してきた時には、頼りなげだった子供た

ちも4年間のうちに立派に成長を遂げてくれています。きっと、社会に出て、胸を張って歩んで行ってくれることでしょう。また、在校生も来年は、先輩たちを超える頑張りを見せてくれること間違いないと期待しています。

つい先日まで、徹夜で作業する学生たちで賑やかだったゼミ室も、すっかり静かになりました。

後は、新学期、入学式を迎えるばかりです。われわれ教員、全力で教育にあたる覚悟でいます。今後ともご支援を賜りますよう、お願いします。

資格取得へ対策をすすめています

人間環境デザイン学科では、コースごとに在学中に取得を推奨している資格があります。

建築・まちづくりコースではみんなが目指すもっとも大きな資格は建築士です。この資格は所定の単位を取得すると、卒業と同時に2級建築士受験資格、また2年の実務経験を経て1級建築士の受験資格が得られます。本学では4回生の卒業前に学内で2級建築士へ向けた対策講座を希望者対象に開講しています。資格専門学校との提携によって、卒業後も進路先の近くで引き続き講座を受け、卒業後すぐに控えた2級建築士学科試験に備えることができます。現在では2級建築士取得者が12名と、数がだんだん増えてきました。きっとそのうち、1級建築士になったと卒業生からうれしい報告があることでしょう。

インテリアデザインコースではインテリアプランナー登録資格、インテリアコーディネーターなど、さまざまな資格取得を推奨しています。今年度も2名見事合格し昨年度の合格者と合わせて計3名がインテリアコーディネーターとして社会で活躍することとなりました。またさらに在学中の資格対策としてはインテリア設計士の対策を授業科目の中で行っています。例年ほぼ100%の合格率で、今年も16名が合格しました。

造形デザインコースでは幅広いデザインに関する学びをしています。その中でも大きな資格は中・高校教諭一種免許状（家庭）です。実際の家庭科教諭への就職は倍率が高く、なかなか難しい現状があります。これま

で静岡県の中学校教諭一名、大阪府立高校教諭一名が立派に先生として頑張っていますが、今年は、卒業生が2名、家庭科教諭採用と嬉しい報告が入りました。

そのほか、卒業後に受験可能な施工管理技術士や、在学中に取れる宅地建物取引主任者資格、福祉住環境コーディネーターや色彩検定などの勉強も各自で励んでいます。

将来のため、目標のため、想いは様々ですが学生は4年間の学生生活をチャレンジ精神旺盛にがんばっています。



卒業制作にがんばった学生!! ～M邸改修計画～

卒業研究の講評会が2月12日・13日と2日間にわたり行われ、学長賞（最優秀賞）及び優秀賞が決定しました。

今年度、優秀賞に選ばれた守行一晃さんと山本早輝さんに焦点をあてます。

彼らの卒業研究は榎原に住むMさんから今住んでいる古民家の改築案を作ってほしいとの依頼を受けたところからはじまりました。春から現状の実測調査に始まり、ク

ライアントの要望をヒアリングし、計画・設計を行いました。クライアントにわかりやすいように図面だけではなく打ち合わせの為だけの模型やスケッチ、CGなどを駆使し、何度も作っては壊し、作っては壊しを繰り返してできあがったようです。完成した計画は、現存している建物と中庭の美しさを活かしつつ、現代のライフスタイルにあわせた住みやすい住宅となっています。

現在、不要な建物を解体する作業に入っており、卒業後も彼らはこの改修に立ち会っていく予定です。

実測調査にも模型づくりに同じゼミの仲間にも手伝ってもらっており、そのおかげで4年間の集大成にふさわしい卒業研究として完成しました。



メッセージ

現代教育学科
学科長
安井 義和



本学後援会の皆様には、現代教育学科の教育・研究活動に温かなご理解とご協力を賜り、心よりお礼を申し上げます。

昨年度は教育学部の念願でありました現代教育研究所もスタートし、秋には開所シンポジウムも盛大に行えました。今年は当研究所設立の目標に向かって、教員全員で確実な歩を進めて行きたいと思っています。

昨年の秋には同僚の良原准教授が大峰山で亡くなるという悲しい出来事があり、在学生、特に良原ゼミ生や1回生の担任学生には少なからぬ動揺が起りましたが全学をあげて対応を行って参りました。

平成26年度は学部定員も約50名増加の予

定で、大学院の開設も準備しています。その機にカリキュラムも大幅な見直しに取り組んでいます。いずれも、より優れた学生を教育界を中心に送り出し、卒業生で教職にある者達と共に教育課題に取り組める組織作りとご理解いただければ幸いです。学校園現場も団塊の世代の大量退職が始まり、若くして組織をまとめ、管理職的な職責が問われます。その意味でも、卒業生達が大学院で学び、大学との強いパイプが出来る楽しみにしています。後援会の皆様には今まで同様、ご指導とご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

教員採用試験の取り組み みんなで支え合い、学風をつくる

教育学部4期生が、今年度も、自らの力と多くの支えによって、受験という大きな山を登り切ってくれました。

まず、小学校では、大阪府20名（昨年度17名）、奈良県12名（11名）が合格しました。特に、奈良県は、1期生からの推移が、6名→10名→11名→12名と、年々、人数が増えています。ただ、小学校全体の合格率は46.8%と、昨年の62%に比べて苦戦となり、次年度の巻き返しが期待されます。養護教諭も奈良県で初めての合格者が出ました。全体では4名（6名）が合格しました。さらに、公立幼稚園教諭・保育士は、18名

（7名）が最終合格する素晴らしい結果となりました。もちろん、講師として現場に立ちながら受験勉強をしてきた卒業生からも、合格のうれしい知らせが入っています。

みんな、とてもよく頑張りましたね。5期生も、これに続きましょう。学生の声です。

畿央大学ではたくさんの人たちが試験に向けて頑張っていました。その人たちを見るために、私は毎日、大学に通っていたと思います。目的を同じくする人が頑張っている姿が、私が試験に合格できた原動力かもしれません。

「自分は一人ではなくたくさんの人に支えられている」という気持ちも大きなモチベーションになったと思います。

に通う日々でした。勉強中の疑問点は、先生に尋ねに行き、類似問題で二度と間違わないようにしていました。過去問をしっかりと解く。小論文は何回も添削してもらう。対策講座に出席して何回も人前で話す練習をする。

試験が近づく不安になることも多かったけれど、同じように頑張る仲間がいるというのがとても心強かったです。

みんなで励まし合い、一丸となって取り組む畿央大学の学風ができあがっています。



友人と朝から晩まで自習室や図書室



親子ひろばの卒業式をしました

マミポコ・親子ひろばとマミポコ・キッズは、畿央大学の「地域に根ざした大学」の取り組みの一貫として、地域の子どもたちや親子を大学に招き、遊びや活動を提供してきました。学生にとっても、子どもと関わる力を身につけ、学校・園と地域や家庭との関係や連携を考える活動として、代々引

き継がれ、毎年、多くの学生が参加しています。

そのマミポコ・親子ひろばで、この春から保育所や幼稚園に入園する子どもさんのための卒業式が行われました。当日は、7組の親子が参加してくれました。絵本の読み聞かせやふれ合い遊び、ダンスをし、最後に可愛いひよこのマスコットをプレゼントしました。

学生は、「子どもたちの成長の大きさにびっくりしました。来年度も、子どもたちが楽しめる活動をみんなで考えていきたいと思います。」と決意を新たにしていました。



開学10周年をステップに 更なる発展へ

畿央大学は、今年度で開学10周年を迎えましたが、それをステップに更なる教育研究の充実と発展を期して2014年事業計画が進行しています。

5年連続の志願者増に应运

2012年春、全国の四年制私立大学の45.8%が定員割れになったと日本私立学校振興・共済事業団が発表しました。このような厳しい状況の中で畿央大学は5年連続の志願者増となり、とりわけ2013年度志願者数は前年比2割増となりました。

健康と教育という社会ニーズの高い分野で専門的資格を取得するという内容が時宜を得たこと、就職や国家試験合格率において結果を出していること、実践的な学びを重視する取り組みが学生を成長させ、地域社会からの期待も高まっていること、何よりも「徳をのばす・知をみがく・美をつく

る」の建学の精神に基づく人間教育が保護者の方をはじめとする多くの方々の信頼を得たことが大きいと思われます。

10年前に産声をあげた小さな大学が確かに成長し、大学としての体裁を整え始めたといえる状況です。そして、勢いのある今こそ、畿央大学は、次の10年に向けてのステップアップをはかります。

未来に向けて大きな一歩

畿央大学では教育研究のレベルをさらに高め、卒業生の母校としてその成長の礎となれる力を持ち、一層の社会と地域への貢献を果たしていける大学となるための方策について時間をかけて検討してきました。

後援会だよりの紙面をお借りして
畿央大学2014年構想をご紹介します。



各学科のカリキュラムや取得資格、実験・実習施設の問題点を洗い出した結果、より社会の要請に応える内容、より充実した教育研究環境を持つことが必要であるという結論に達しました。主なものは ①教育系大学院（修士課程）を開設する。②教育学部で「特別支援学校教員免許状」の取得を可能にし、入学定員増を図る。③健康栄養学科に「臨床栄養コース」「スポーツ栄養コース」「食品開発コース」のコース制を導入し、入学定員増を図る。の3つです。すべて2014年4月に実現すべく準備を進めています。これにともない新校舎の建築、食堂棟の増築も行います。

平成24年4月に現代教育研究所が開設され、また、平成25年4月にはニューロリハビリテーション研究センターが開設されます。「健康」と「教育」の高等教育機関として、よりレベルの高い内容を持ち、教育研究活動を活発に進めることで社会の期待に応えていきたいと考えています。

定員増の構想		現 行		2014年度（構想）	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
健康科学研究科	健康科学専攻（修士）	20	40	20	40
	健康科学専攻（博士後期）	5	15	5	15
教育学研究科	現代教育専攻			10	20
健康科学部	理学療法学科	60	240	70	280
	看護医療学科	90	360	90	360
	健康栄養学科	70	280	90	360
	人間環境デザイン学科	45	180	50	200
教育学部	現代教育学科	145（5）	590	195（5）	790
助産学専攻科		10	10	10	10
合 計		445（5）	1715	540（5）	2075
（ ）内は3年次編入で外数		定員増加数		95	360

畿央大学開学10周年 記念募金のご案内

愛と絆 魅力ある未来へ

我が冬木学園を私塾として教え子の願いの元に開設をして早や60数年が経過しました。その間、家政学院、高等学校、短期大学、短期大学付属幼稚園、そしてついに畿央大学と、まさに望ましい足跡を辿り、今日の成果を遂げて参りました。建学の精神である「徳をのばす・知をみがく・美をつくる」はあまねく卒業生たちの生きる力となり、社会に貢献し続けていることと存じます。

この平成25年度には畿央大学が開学10周年の記念すべき飛躍の年を迎えます。振り返りますと10年間の畿央大学の歩みには固い絆、そして尽きることの無い愛があったことに感動を覚えずにはいられません。そして今、より豊かな、魅力ある未来に向かって前進を続ける決意を固めております。

発展を続ける畿央大学そして冬木学園に、皆様方の温かいご支援、ご協力をお願い申し上げます。

学校法人冬木学園理事長 畿央大学学長 冬木 智子

畿央大学開学10周年記念募金

目 的	畿央大学開学10周年記念事業に要する資金調達及び教育・研究・地域貢献事業の基盤確立のため
期 間	平成24年10月～平成26年3月31日
募金目標	1億円
募金方法	個人/1口 5,000円 なるべく2口以上のご協力をお願いします。 ※金額にかかわらず、1口もしくは1口未満のご寄付もありがたくお受けいたします。 法人/1口の金額は特に定めておりません。

記念募金の申込方法・税制上の優遇措置については、法人事務局総務部（担当：植村・竹本）にお問い合わせ下さい。
Tel 0745-54-1602 E-mail soumu@kio.ac.jp

畿央大学開学10周年記念事業のご案内

この10年の成果を検証し、発展を支えてくださった方々への感謝を伝えるとともに、教育研究活動の新たな発展を展望する多様な周年行事を開催します。すでに健康科学部人間環境デザイン学科は、この3月2・3日に10周年記念事業と位置付けて例年の卒

業研究・制作展を「大卒業展」として開催し、卒業生を招いてのシンポジウムも行いました。以下の記念事業の他にも、後援会総会、保護者懇談会、やまとフォーラム、畿央祭等の行事を10周年記念と位置付け、内容も充実させて取り組むことを予定しています。

	日 程	主な内容
記念式典	5/26 (日) 10:00 式典 12:30 レセプション	開学10周年を記念して、お世話になった方々に感謝し卒業生達との交流を深めます。
記念講演会	6/15 (土) 14:00~16:00	奈良県出身の絹谷幸二画伯を講師としてお招きし「美をつくる」ことにかける思いを語って頂きます。
教育学部企画	6/29 (土) 13:00 基調講演 14:00 パネルディスカッション	「教育の未来を語る」をメインテーマに安彦忠彦先生による基調講演、その後子どもの学力形成についてパネルディスカッションを行います。
健康栄養学科企画	7/7 (日) 10:00 卒業生活動報告会 13:00 基調講演 14:30 パネルディスカッション	午前中は卒業生活動報告会。午後から伊賀上野病院三木院長の記念講演の後、NST（栄養サポートチーム）の現状や期待についてのパネルディスカッションを行います。
理学療法学科企画	8/24 (土) 11:00 基調講演 14:00 シンポジウム	松田暉先生による基調講演のあと卒業生茶話会や「理学療法士としての道を拓く」をテーマに卒業生シンポジウムを行います。
看護医療学科企画	8/31 (土) 13:00 基調講演 14:20 学生発表 15:20 パネルディスカッション	「いのちに寄り添う看護」をメインテーマに藤腹明子先生の基調講演、臨床指導者・教員・学生達によるパネルディスカッションを行います。
地域連携フェア	12/8 (日) 11:00~16:00	これまでの産学連携で畿央大学から生まれた商品の販売、地域連携の各種取り組みのパネル展示、健康チェックや子ども体力測定など、地域とともに発展してきた畿央大学の姿を紹介します。

授業日カレンダー

大学での授業は、前期・後期各15回行われます。①～⑯は授業曜日ごとの授業週数を表しています。⑮⑯週目の最終授業期間は、独自の時間割で定期試験、平常授業、補講が行われます。曜日によっては15回の確保のため、祝日に授業を行うこともあります。
注：①～⑯は各曜日の授業回数、※印のついた日は校舎内に入ることはできません。■は休講日

健康科学部

4月	5月	6月	7月	8月	9月
日曜 内 容	日曜 内 容	日曜 内 容	日曜 内 容	日曜 内 容	日曜 内 容
1月	1水④	1土⑦	1月⑪	1木⑯	1日
2火	2木④	2日	2火⑪	2金⑯	2月
3水	3金 憲法記念日	3月⑦	3水⑬	3土⑯	3火
4木	4土 みどりの日	4火⑦	4木⑬	4日	4水
5金	5日 こどもの日	5水⑨	5金⑫	5月⑯	5木
6土	6月 こどもの日 振替休日	6木⑨	6土⑫	6火⑯	6金
7日	7火④	7金⑧	7日	7水	7土
8月	8水⑤	8土⑧	8月⑫	8木	8日
9火	9木⑤	9日	9火⑫	9金	9月
10水	①授業開始	10金④	10月⑧	10水 補講日	10土
11木	①	11土④	11火⑧	11木 補講日	11日
12金	①	12日	12水⑩	12金⑬	12月
13土	①	13月④	13土⑩	13火	13金
14日	14火⑤	14金⑨	14日	14水	14土
15月①	15水⑥	15土⑨	15月⑬ 授業日 (海の日)	15木	15日
16火①	16木⑥	16日	16火⑬	16金	16月 敬老の日
17水②	17金⑤	17月⑨	17水⑭	17土	17火
18木②	18土⑤	18火⑨	18木⑭	18日	18水
19金②	19日	19水⑪	19金⑭	19月	19木
20土②	20月⑤	20木⑪	20土⑭	20火	20金
21日	21火 創立記念日 (補講日)	21金⑩	21日	21水	21土
22月②	22水⑦	22土⑩	22月⑭	22木	22日
23火②	23木⑦	23日	23火⑭	23金	23月
24水③	24金⑥	24月⑩	24水⑮	24土	24火
25木③	25土⑥	25火⑩	25木⑮	25日	25水
26金③	26日 10周年記念式典	26水⑫	26金⑮	26月	26木
27土③	27月⑥	27木⑫	27土⑮	27火	27金
28日	28火⑥	28金⑪	28日	28水	28土
29月③	29水⑧	29土⑪	29月⑮	29木	29日
30火③	30木⑧	30日	30火⑮	30金	30月①
	31金⑦		31水⑯	31土	

教育学部

4月	5月	6月	7月	8月	9月
日曜 内 容	日曜 内 容	日曜 内 容	日曜 内 容	日曜 内 容	日曜 内 容
1月	1水④	1土⑦	1月⑪	1木⑯	1日
2火	2木④	2日	2火⑪	2金⑯	2月
3水	3金 憲法記念日	3月⑦	3水⑬	3土⑯	3火
4木	4土 みどりの日	4火⑦	4木⑬	4日	4水
5金	5日 こどもの日	5水⑨	5金⑫	5月⑯	5木
6土	6月 こどもの日 振替休日	6木⑨	6土⑫	6火⑯	6金
7日	7火④	7金⑧	7日	7水	7土
8月	8水⑤	8土⑧	8月⑫	8木	8日
9火	9木⑤	9日	9火⑫	9金	9月
10水	①授業開始	10金④	10月⑧	10水 補講日	10土
11木	①	11土④	11火⑧	11木 補講日	11日
12金	①	12日	12水⑩	12金⑬	12月
13土	①	13月④	13土⑩	13火	13金
14日	14火⑤	14金⑨	14日	14水	14土
15月①	15水⑥	15土⑨	15月⑬ 授業日 (海の日)	15木	15日
16火①	16木⑥	16日	16火⑬	16金	16月 敬老の日
17水②	17金⑤	17月⑨	17水⑭	17土	17火
18木②	18土⑤	18火⑨	18木⑭	18日	18水
19金②	19日	19水⑪	19金⑭	19月	19木
20土②	20月⑤	20木⑪	20土⑭	20火	20金
21日	21火 創立記念日 (補講日)	21金⑩	21日	21水	21土
22月②	22水⑦	22土⑩	22月⑭	22木	22日
23火②	23木⑦	23日	23火⑭	23金	23月
24水③	24金⑥	24月⑩	24水⑮	24土	24火
25木③	25土⑥	25火⑩	25木⑮	25日	25水
26金③	26日 10周年記念式典	26水⑫	26金⑮	26月	26木
27土③	27月⑥	27木⑫	27土⑮	27火	27金
28日	28火⑥	28金⑪	28日	28水	28土
29月③	29水⑧	29土⑪	29月⑮	29木	29日
30火③	30木⑧	30日	30火⑮	30金	30月①
	31金⑦		31水⑯	31土	